

## 平成 30 年 入学式 式辞

春は希望の季節です。生きているものすべてが生氣にあふれています。

この輝くような春の日に、平成 30 年度、相愛中学校、相愛高等学校入学式を挙げていたしましたところ、浄土真宗本願寺派津村別院ご輪番 木下慶心(きのした けいしん)さまをはじめ、大阪教区教務所長 熊谷正明(くまがい まさあき)さま、浄土真宗本願寺派社会部課長 藤誠玄(ふじ せいげん)さま、相愛大学副学長 中村圭爾(なかむら けいじ)先生、同窓会、育友会、後援会各会の会長さまや多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、学園長、理事長ともどもにありがたく感謝を申し上げます。

中学校新入生 31 名、高等学校新入生 111 名の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは人生の大きな節目を迎え、今ここに臨んでおられます。緊張の中にも、夢や希望で胸いっぱいにくらませていることでしょう。幼い頃から皆さんを愛情深く、大切にはぐくんでこられた保護者の皆さまにとっても、感慨深いものがあるかと思えます。私たち教職員はもとより、すべての在校生が新入生の皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

相愛中学校・高等学校は、1888 年に設立された相愛女学校に起源を持ち、130 年にわたり、大阪の女子教育の一翼を担ってまいりました。明治、大正、昭和、そして平成と、時代の変化とともに学校の様子も変わってまいりましたが、変わらないのは本学の建学の精神である「當相敬愛(とうそうきょうあい)」がうたうところを教育の基盤に据え、生徒たちが持つ潜在的能力を十分に発揮できる教育実践を脈々と行ってきたことでもあります。

相愛を巣立っていった多くの卒業生の皆さんが国内はもちろんのこと、広く国際社会において、活躍していらっしゃることは、現在、ここに学ぶ者にとりましても、誠に心強いことでもあります。

さて、私が日頃、大切に思っていることを 2 つお話いたします。

1 つ目のお話は、よき学習者であれということです。相愛中学校・高等学校には、生徒と教職員を合わせると 550 名を超える人々がいます。この中で私たちは日々、お互いに深くかかわりながら、学び合っています。教える側の先生、学ぶ側の生徒というように、見かけは役割が分けられますが、実際には、先生方は教えることによって多くを学びます。熱心な学習者である生徒とのふれあいから、様々なことを学びます。生徒同士もお互いに学び合い、高め合っています。

「われ以外みなわが師なり」ということばを聞いたことがあるでしょうか。これは吉川英治という作家の座右の銘として、よく知られていることばです。年齢も性別も関係なく、人はいつも人の師であります。学校という集団教育の場には、このような意味があるのです。皆さんは、1 人ひとりが自ら学ぶという行為を通じて、他者とかわり、お互いに学び合うという関係にあることを自覚してほしいと思います。

3 年間、6 年間の生活を通して、よき学習者であり続けるよう期待します。

2 つ目のお話は、人権の尊重ということです。人には誰にでも、他者に受け入れられたいという願いがあります。しかし、残念なことに現実の世界では、他者を受け入れることを拒絶する事案が後を絶ちま

せん。今こうしている間にも、世界のあちらこちらで、苦しみや悲しみを体験している人たちが大勢います。私たちがテレビやインターネットを見れば、世界のどの国で、どのようなことが起こっているのか、瞬時に知ることができます。

人は人とのかかわりの中で、人として豊かに成長するのです。その人間関係の出発点は、「人にしてもらいたいことは、人にもその通りにすること」だと私は思います。もし、人にやさしく受け入れてほしいと思うなら、その人は、自分も他の人をやさしく受け入れなければなりません。その関係には、どこまでも終わりがありません。人をあるがままに受け入れるということは、言葉で言うのは簡単ですが、実践するのはそれほど簡単なことではありません。考え方の違いや、習慣の違いなどによって、人は簡単に人を遠ざけます。

本日入学した、新入生の皆さんは、それだけの数の個性であり、人格です。どうか、1人ひとりがお互いの人格を大切に、その経験を社会に広げていってほしいと願わずにはおれません。

人間としての幸せの中には、最良の友や最良の師の出会いということがあります。相愛中学校・高等学校の生徒として、皆さんが「我が師」「我が友」とめぐり合い、生涯を通じて交わりを深められるよう、願っております。

最後になりましたが、保護者の皆さまにいちごん申しあげます。

どうぞ、学校のことは学校にお任せください。今日、少し大きめの制服に身を包み、初々しさでいっぱいのお子さまが、3年後、6年後の卒業式には、こんなに健やかに成長したのかと、実感していただくことができる、という自信を私たち教職員は持っています。

信頼感のないところには、教育は育たないと言われております。家庭と学校がお互いに、お子さまを中心に、信頼し合い、手を取り合ってまいりたいと考えております。保護者の皆さまにおかれましても、どうか本校の教育方針や指導について、ご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

新入生の皆さんの中学校生活、高校生活が楽しく充実したものとなりますよう、お念じ申し上げ、式辞といたします。

2018(平成30)年 4月5日 相愛中学校・高等学校  
学校長 安居 健治